

令和4年度 中長期計画

社会福祉法人 秀幸福社会

I <環境>

令和元年より流行しはじめた新型コロナウイルスは、新株の発生が起こり、令和3年度においてもなお、その猛威をふるい続け、感染者の累計は540万人を超えた。令和4年度では、昨年に引き続き介護及び障害福祉サービス等報酬改定項目に追加された「感染症や災害への対応力強化」に対応していく。また、茨木市において近年高齢化の進展により認知症の課題や生活上の困りごとにも複雑・多様化し、きめ細やかな相談支援体制の整備が必要となり、圏域や相談支援体制、ネットワークについて見直しが行われ、これまでの7つの日常生活圏域を14エリア（小さな圏域）5圏域（大きな圏域）に再設定された。今後、それに基づいた包括的な（心身の健康保持、生活の安定、関係機関との連携等）施策の支援をするべく、昨年同様、社会福祉法人として高齢者だけではなく、障がい者、子育て支援に対しても積極的に社会貢献を実施していくことを使命としていく。

<事業内容（現在）>

特養、短期入所、通所介護、通所介護相当サービス、認知症対応型（予防）通所介護、訪問介護、訪問介護相当サービス、訪問型サービス A、居宅介護支援、診療所、配食、特定旅客、在宅介護支援、生活困窮者レスキュー、地域包括支援センター、コミュニティソーシャルワーカー、障がい者相談支援、放課後児童デイ、障がい者支援事業（居宅・重度障害・同行援護）、地域移動支援事業、就労継続支援B型、地域活動支援事業Ⅲ型 居住支援法人

<課題>

- (1) 介護事業者・行政・医療・地域等との連携体制の構築によるサービス力の向上
- (2) 介護事業者のサービス提供能力の向上（量・質）、ならびに利用者ニーズに応える機能開発・展開
- (3) 介護職員の人材の定着・確保
- (4) 介護保険法の改正に対応
- (5) 生活困窮者に対する自立支援への取り組み
- (6) 障害児から障害者に向けての総合的支援の取り組み

II. 中長期方針（期間：平成4年度～令和8年度）

31年度に新たに見直しされた圏域や相談支援体制の構築及び、ネットワークに基づいた包括的支援の強化を図り、社会貢献事業の取り組みを行う。また、感染症や災害等が起こった際、業務継続を図ることが出来る体制を整える。

- (1) 介護ニーズの現状と将来動向の把握
- (2) (1)に基づく既存事業の改廃・拡張プランの策定
- (3) (1)に基づく介護サービス機能の改廃・開発プランの策定
- (4) 介護サービスの質を下げないための内部体制の構築

III. 短期目標

①福祉を取り巻く環境の変化への対応

【新規】

・LIFEの導入

LIFEを導入することにより、利用者情報の更なる共有及び、フィードバック結果に基づいたサービス提供を行うことで、利用者へのサービス向上を図る。また、作業効率があがることにより、事務

作業時間の短縮ができ、介護職員の負担を軽減する。

【継続】

- ・新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス流行により、各事業所において利用者のサービス利用控えが顕著に見られた。検温、消毒等感染対策を十分に行いつつ、サービス利用を促していく。

②地域ニーズの把握

【継続】

- ・地域情報の把握

研修会への積極的参加、職員間での伝達研修での情報の共有化。

- ・近隣の方々の情報を入手

地域包括支援センター及びコミュニティソーシャルワーカーの配置、地域ケア会議の充実。

- ・「福祉相談会」の定期開催

福祉サービスの制度につなげる

- ・生活困窮者・中間就労等への支援

情報入手、積極的な支援を行う。

③福祉ニーズへの新規取り組み・拡充

【継続】

- ・居住支援法人としての取組

令和3年度から開始した、住宅確保要配慮者へ円滑な入居に係る情報提供・相談や見守り等の支援を行う居住支援法人としての取組を引き続き行う。

- ・更なる障がい者支援の充実

ひまわり・フォルテひまわりにおける継続的な障がい児への取組、ひまわりの杜における地域活動支援Ⅲ型における一般障がい者への取組を、次のステージである就労継続支援B型のファーム大岩の杜に繋げていき、さらに一般就労へと繋げていく。

- ・庄栄・未来・高槻における認知デイ事業所の構築と拡充

- ・福祉行政サービスへの継続的な専門職連携の構築。

福井多世代交流センターへ機能訓練士・看護師・学習支援者の派遣

④介護サービスの充実

【継続】

- ・統一された介護サービスの提供

対象となる職員を、より計画的に内部外部研修に参加、参加出来なかった職員に対する伝達研修により、全職員のレベルの標準化を図る。

- ・「認定特定行為業務従事者」の100%取得

利用者の重度化（ADLの低下等）により医療行為の必要性が不可欠、計画的な取得を図る。

- ・利用者のQOLの維持と向上

今後の利用者のADLを見据え、PT・OTの配置を強化し、更なる効率的な訓練を行う（特養・デイ）。

- ・外部評価機関受審による事業体質強化

「第三者評価受審」、「外部監査」の実施

- ・個々の利用者のニーズに応えた、快適なサービス提供

他事業所と密に連携を取り、利用者情報を速やかに共有。

⑤職員の確保

【継続】

- ・茨木市開催の訪問型サービスA 従事者養成研修受講者の採用
行政と連携体制をとり、従事者養成研修受講修了者の積極的採用を図る。
- ・「エルダーの魅力」「介護職の魅力」を伝える
ホームページ求人媒体への年間掲載、近畿圏内中心の学校訪問活動を年4回行う、就職フェアへの積極的な参加。
- ・無資格者の積極的採用
家賃補助、資格取得に向けた独自の奨学金制度等をアピール

⑥職員の育成

【継続】

- ・職員の身体的負担の軽減
介護機器の積極的導入。(見守り支援システム、立位補助機、スライディングシート)
- ・効率的な研修計画の策定・実施
キャリアパスにおける職務等級定義に沿うよう計画
- ・チューター制度
新入職者に対し技術的、精神的にいつでもフォローできる体制を維持。
- ・情報の共有、絆の強化、コミュニケーションの円滑化
「チームで問題解決できる体制づくり」を目指し、定期的にミーティングを開催
- ・毎月第三火曜日に産業医による健康相談及び体調管理指導。
- ・勤務2年目以上のやる気のある非常勤職員の「常勤職員」へのシフト推進。
- ・毎年1回(10月開催)他施設の方及び、外部講師を招き、研究発表会を行う。

⑦地球環境保護への取り組み

地球温暖化防止や、限りある資源の保護のため施設全体でエコ活動の推進取り組み(月一回エコ会議)
(年次別削減目標)

年度	電気	水道	ガス
30年度実績	485,903KWG 5.9%減	11,770 m ³ 1.1%減	33,866 m ³ 2%増
31年度実績	476,629KWG 1.9%減	11,870 m ³ 0.8%増	31,866 m ³ 5.9%減
令和2年度実績	494,258KWG 3.7%増	10,055 m ³ 15.3%減	30,549 m ³ 4.1%減
3年度実績	492,573KWG 0.3%減	11,461 m ³ 4.8%増	31,532 m ³ 3.2%増
4年度目標	500,000KWG	11,900 m ³	34,500 m ³
5年～令和8年目標	30%減	20%減	65%減

IV.令和4年度 目標

- ① 感染症や災害への対応力の強化
- ② 誰もが輝ける職場づくり
- ③ 個性を生かし、認め合えるコミュニケーションを
- ④ Try the best!

V.既存事業の3ケ年目標と運営指針

目的 エルダー各事業の継続的・安定的な運営を図る為、より確固たる基盤を構築すること。

	令和4年度目標	令和5年度目標	令和6年度目標	運営指針
特 養	稼働率 100%	稼働率 100%	稼働率 100%	利用者一人一人と向き合いニーズを把握、創意工夫をして充実した毎日をお過ごししていただく
ショート	稼働率 100%	稼働率 100%	稼働率 100%	利用者のニーズに応えられる介護力の提供提案実施、家族、ケアマネにも詳細を伝え、安心した利用提供。
デイサービス	一般 1,270 名 認知 260 名	一般 1,270 名 認知 260 名	一般 1,270 名 認知 260 名	高齢者のニーズに対応、見える化を目指す。報連相を常に実施し、解除力に繋げていく。
ヘルパーステーション	1,900 時間	1,900 時間	1,900 時間	安心・安全に利用者のニーズに合わせた支援の充実、連携を取り総合的な知識を目指す
ケアプランセンター	189 件(35 件/1 人) 予防・総合 54 件(10 件/1 人)	189 件(35 件/1 人) 予防・総合 54 件(10 件/1 人)	189 件 (35 件/1 人) 予防・総合 54 件 (10 件/1 人)	利用者の思いをしっかり受け止めること。即行動することで利用者、家族、他事業所の信頼を得てプランを増やしていく
三島・庄栄包括	給付・総合支援 104 件 (20 件/1 人)	給付・総合支援 104 件(20 件/1 人)	給付・総合支援 104 件 (20 件/1 人)	地域ケアシステムの構築のため医療と福祉の連携強化に努め、非自発的な高齢者のアウトリーチを行う
太田・西河原包括	給付・総合支援 104 件 (20 件/1 人)	給付・総合支援 104 件(20 件/1 人)	給付・総合支援 104 件 (20 件/1 人)	地域ケアシステムの構築のため医療と福祉の連携強化に努め、非自発的な高齢者のアウトリーチを行う
東・白川包括	給付 80 件 (20 件/1 人)	給付 80 件 (20 件/1 人)	給付 80 件 (20 件/1 人)	関係機関とのネットワーク構築を継続的に行うと共に、地域住民への情報提供や支援を行い、地域の高齢者が住み慣れた場所で安心して生活できるよう活動する
配食	1,100 食	1,215 食	1,215 食	新規利用者獲得の取り組み。利用者満足から継続へ繋げる

VI 施設整備等修繕計画

単位：千円

庄栄エルダー-建物修繕に関する計画表		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
部位(見積先)		築22年	築23年	築24年	築25年	築26年
建物工事	防水、外壁改修、鉄部塗装他	0	19,000	0	46,901	0
	壁ビニールクロス張替工事	0	0	0	0	0
設備工事	電気、給排水	29,000	0	0	19,248	85,257
	昇降機	0	0	0	0	17,108
	空調設備	23,000	0	0	0	28,470
	電話設備	0	0	0	0	0
工事仮設工事諸経費		15,000	7,000	0	25,368	18,317
その他	定期報告・受水槽材料	380	380	380	380	380
計		67,380	26,380	380	91,897	149,532
庄栄エルダー積立計画		23,000	25,000	30,000	23,000	10,000
累計		242,600	239,220	268,840	199,943	60,411